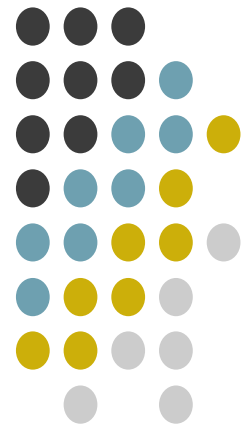




フェローシップ・ニュース No.129



マーシーこと田代まさし氏との対談 近藤恒夫と交わした最後の言葉

ソーシャルワーカー 志立 玲子

特定非営利活動法人
アジア太平洋地域
アディクション研究所

発行日
2025年3月1日

志立：今日はフェローシップニュースの対談ということで・・・

マーシー：何号出してるんですか？

志立：次が129号ですね。2カ月に1回で、これは受刑者とか、刑務所長とか保護観察所に送っています。今回はマーシーさんと対談ということで、まずは2年ちょっと前に福島刑務所から出所してきたと思いますが、その出てきた時の気持ちというか、どんな感じでしたか？

マーシー：今思い起こすと、出てきてすぐは、もう俺これからどうしたらいいんだろうとか、あの段階で刑務所3回目、捕まってるの4回、もう世間的に無理だからって気持ちが強くてねえ。応援してくれる人もほとんどいなくなってるだろうなあみたいな。これからどうやって生きていけばいいんだろうっていう思いしかなかったです。出てきてすぐは・・・。

志立：次の週でしたっけアパリに来たのは？

マーシー：最初、アパリに来て、あとダルクの本部にも来て、もう一回やり直したいと、俺はもう一回、一から勉強し直したいんですって言って、お願いしに来たのを覚えてますね。

志立：近藤さんの遺影に手を合わせたのを覚えてるんですけど。近藤さんが受刑中に亡くなったじゃないですか。それはどうやって知ったのですか？

マーシー：受刑するちょっと前に近藤さんのお見舞いに行ったんです。受刑するって決まってから。保釈中で、ちょっとヤバいって聞いてたので、生きているうちに会っておきたいと思ったので。「近藤さん、もうすぐ僕、収監されます。」と「そうか」と言って。その時、近藤さんから「お前は何回も捕まっているけど、それはダルクとか依存症者にとって大きな役割を担ってる」と。「どういうことですか？」って聞いたら、「最初、お前が捕まった時はアンチが90%以上いた。しかしお前が捕まる度にダルクで頑張っているとか。NHKの薬物依存の番組に出たり、俺と一緒にいろんなところで講演やったり、法務省の社会を明るくする運動に行ったり、そういう活動をやっていくうちにアンチが少し減ってきて、今回、お前が捕まった時も、俺はアンチのことを調べたけど、半分以上の人が薬物依存ってこんなに大変なんだって変わってきた。お前が薬物依存のイメージをこれだけ変えた。イメージを変えた役割は大きい」と褒められました。

マーシー：「近藤さん、薬物依存の人のイメージを良くするためにわざわざ捕まっているわけではございません。やめられなくて捕まっているだけであって・・・（笑）」と言ったら、「だからそれがいいんだよ」って。「それがお前、真実味があって、みんなに説得できる。でもお前ぐらいだぞ！ そういうふうに思われるのは。普通はみんなもういいや、こいつってなるのが、お前の場合は何だか知らないけど、捕まる度に少しずつ好感度が上がっている」と言われました。

志立：確かにそれはありますね。



この対談の様子はYouTube「MARCYSちゃんねる」にアップされます。

APARIとは、アジア太平洋地域アディクション研究所 (Asia-Pacific Addiction Research Institute) の略称です。

全国のDARCやMAC等の社会復帰施設、福祉・教育・医療・司法機関と連携しながら、依存症から回復しようとする方々を支援しているシンクタンクです。

目次：

マーシーとの対談ー近藤恒夫と交わした最後の言葉…志立玲子	1
コラム 心のつぶやき 日記(10)…野呂岳央	5
藤岡ダルク入寮者からのメッセージ…ショウタ	6
AREA軽井沢開設について…鈴木小太郎	7
司法サポートのご案内 家族教室スケジュール	8

マーシー：いや、いや、それは自分では分からないんですけど。いや、でもご病気だったし、出てくるまでちょっと元気でいてくださいねって。回復の姿を近藤さんにちゃんと見せてから天国行ってくださいよって言ったんだけど、収監中に亡くなったって話を聞いて・・・。

出てきてからアパリやダルク、保護観察所に通いながらも近藤さんのお別れ会に参加できたんですよ。カテドラル教会でやったのと、その後どこかのホールでね。それに参加できたんですよ。その時に近藤さん見ててねって。大きな写真が飾ってあったじゃないですか。教会でもあんなに人に囲まれて・・・。

志立：残念でしたよね。後ろにも写真が飾ってあるように、近藤さんはいつも見守ってると思います。

マーシー：自分で言うのはなんだけど、近藤さんはいろんな方を育ててきたじゃないですか。みんな近藤さんを崇拜して、みんな近藤チルドレンって自分で言って。俺は自分で生意気ですけど、近藤さんにずっと付いてまわった最後のチルドレンだと思ってる。俺以下はもうそうはいないから。

この間、三重ダルクフォーラムに行った時、一緒に仲良くしてたマオさんって方が、じっちゃん（近藤さん）に「マーシーが、またこうやって来て、誰かのために講演してたよ」って報告しとくねって言われて、じっちゃんによろしく言うておいてくださいって・・・。

志立：なるほど。

志立：もう一つ、今自分の意思で毎月検査に来てますよね。それはどういった気持ちからですか？

マーシー：保護観察所に月に1回、2年間という長きにわたって、毎回「最近どうですか？」というお話と、短いプログラムみたいなのがあって、その中に薬物検査というのがあったんです。最初めんどくさいなって正直思ったんですけど、やってないで当たり前なのにいちいちなんだよって思ってたのが、ずっとそれを繰り返しているうちに、「今回も良かったですね。大丈夫ですよ」って言われるのが、「ああっ」という風な気持ちになってきて。「今回で終わりですね」って言われた時に、ちょっと寂しい気持ちになった。だったらアパリで検査をやってるし、今回こういうお話いただいた志立さんとも仲が良かったので、すぐに志立さんに薬物検査を続けたいんだけど、と言ったら「いいよ」と快く言っていたので。

すぐにまた使っちゃう人もいないじゃないですか。長い年月刑務所でできなかったから、その反動でとりあえず一回やってみたいとかっていう人が多いんですよ。正直な話。こんなこと言ったら刑務所を出て真面目にやってみる人に申し訳ないですけど、そういう方が結構多い。そういう方がいる中で、その保護観察所の毎月の検査っていうのは、すごく歯止めになる。自分でもそう感じてたし、それが励みになる。俺、今このYouTubeとか、ネット社会で「今日も大丈夫でしたよ」って報告したら、良かったですねって、毎月続けてくださいねって、報告楽しみにしてますみたいなのがあって、今の世の中って、こういうことを公表することがみんなの気持ちを安心させるんだって。

志立：そのYouTubeのコメント見ても、ほとんどアンチはいないですよ。凄いですね！

マーシー：最近いないですね。ありがたいことに。

志立：あとインスタ見ても凄いですね。最近ほら多いじゃないですか。誹謗中傷って・・・。

マーシー：ちょっと何か言うとすごく叩かれたりするんだけど、俺、結構過激なこと言ってるような気もしないでもないんだけど。

志立：今、お仕事の方はどんな感じでやってるのですか？

マーシー：自分のライブも行ったり、あと今年がチャンネルズ結成から45周年。45周年にあたって、何かないかなって思って、僕の最終的な夢が、いつかまたリーダー鈴木雅之の横で歌うことですから、いろんなところで言ってるんだけど、彼が決められるわけでもないし、彼も彼でレコード会社とかバックボーンがいろいろあるわけじゃないですか。事務所とか。だから表だって俺のことを「田代じゃあ来いよ」というのは難しいとは俺も理解してるし、彼もそういう気持ちがあっても周りからいろんなこと言われることもあるだろうし。

ようやく最近、志村さんと俺と一緒に出ていたコントの映像が地上波で見られる。今まではYouTubeでしか見られなかったのが、地上波で解禁になって、少しずつ変わってきてるんです。それは俺が毎月検査したり頑張ってる、いろんなところで講演したり、例えばどこどこに寄付しましたとか、そういう活動を続けてきた結果が、そろそろ志村さんとのあの時のコントが一番面白かったからって言っていただいて、放送しようかって話になってきたり、少しずつこうやって好転してきています。



2023年2月25日近藤恒夫 お別れ会

志立：今はライブ活動とYouTube。それもいろんな方のYouTubeにも一緒に出ていますよね。私も結構見えますけど。そういうことで日々過ごしてる感じですか？

マーシー：そうだね。今までの人が全部そうだと思うんだけど、名前は言えないけど、有名な野球選手とか大物の有名人とかいっぱいいたじゃないですか。捕まった多くの人たちは「もう触れないでください」っていうのが普通なんです。過去のことはもう触れないでください。前のことだけをとって人が多いけど、俺と高知（たかち）ぐらいじゃないかな？ ちゃんと受け止めて薬物依存症ですって、全面に出せる人は。

志立：大きな役割ですね。

マーシー：そういった意味ではね。だからこそ、それを全面に出すことによってさっき言ったみたいに歯止めになるっていうか、もう触れないでくださいって言う人の方が、俺の個人的な考えだと、打たれ弱いっていうか、依存症のマーシーって言ってくださいって言えるようにならないと、なかなか回復は始まらないって俺は近藤さんから教わってるから。

志立：やっぱり近藤さんとの出会いが大きかったですね。

マーシー：人の役に立ちなさいって、手助けをなささいって近藤さんに言われていた。それは、自分が公表することになって自分は手助けとは思ってないですよ。自分の回復のためにやってるっていう気持ち強いから。でも結果的に勇気を与えたりとか、マーシーさんの講演みてダルクに来ましたっていう人もいるわけだから。この3階のミーティングで、そういうこと言われると無駄じゃなかったなって思った。

例えばスベったとしても、スベるって皆さん、もう一回再使用することなんですけど。スベった時に北海道ダルクに近藤さんに行って来いと言われた。北海道ダルクの施設長の森さんに、「すべった僕がみんなにこうやって偉そうなことを言うのは僕、心が引けるんですけど、大丈夫ですかね？ みんなの前でそういう薬物はダメだって話を僕がするのはどうなんですかね？」って言ったら、「違うよ、マーシー、それはハイパーパワーがマーシーにそうさせてるだけで、そのチャンスをまた与えてくれてるんだよ」って言われた時に凄いなって、さすが、ロイさんとずっと一緒にいた人だなと思った。

志立：なるほどね。ハイパーパワーっていう言葉ね。

マーシー：ハイパーパワーはね、フェロシップ・ニュースを見てる人はちょっと理解しやすいと思うんですけど、一般の人にはちょっと分かりづらいと思うのですが、ハイパーパワーっていうのは自分の意思ではなくて心の中にある大きな力に身を委ねる・任せるということをダルクで教わるんですけど、そのハイパーパワーが今はそうさせているだけであって、その時に喋る言葉はその時の本当のマーシーの言葉であるから、別にいいんだよ、喋っても。って言われた時に、なるほどって納得できた。北海道ダルクの施設長も自身が経験してきた施設長になってるわけだから。だからなんで俺がダルクに毎週通ったり、こういうところに来るかっていうと、こういう機会で自分のことを吐き出せる。意味わかります？ この間、またやりたくなっちゃいましたよって話しやすいんだけど、普通のやったことない人、普通の社会にいるとそういうことを喋る機会がないじゃないですか。でも、こういうところに来ると仲間たちがいるから喋りやすい。俺もこの間これ見てやりたくなるとかって、話がどんどん出てくるじゃないですか。なんか安心できる場ですね。

悩んでる人たちに言いたいのは、そういう場が必要で、吐き出すことによって気持ちが楽になる。少しね。自分で思い悩んでると、またろくな方に行かない。だから俺は毎週来てミーティングしたり、地方に行ってそういうところでみんなの前で喋ったり、吐き出すことによって自分が楽になるし、俺はそう思ってないけど、マーシーが言った言葉良かったよねとか言われる。

最近思うようになったのが、平安の祈りで『神様、私にお与えください』っていうじゃない。手を繋いで神様をお願いするじゃないですか。この間、2月3日節分の時、古峰神社に行った時に初めて『神様、私にお任せください』と言った。お任せくださいって凄く良い言葉だなと思って、普通は与えてくださいとか、お願いして助けてくださいって神様に言うじゃないですか。お任せくださいって人、なかなかいないじゃないですか。

でもちょっと横しまな気持ちもあった。なんでかっていうと、神様はいつもお願いされてる。でも俺が「神様、私にお任せください」って言ったら神様は「えっ？ 今お任せくださいって言った？」っていつも俺、頼まれてるのに、今こいつは「お任せください」って言ったぞって。ちょっと待てよと、こいつのことちょっと見とおこうかなって、見守ってみようかなって神様は思うんじゃないかなって、ちょっと横しまな考えもありながら、でもお任せくださいってことは、ちょっと自分に自信が出てきてるわけですね。だからなんか素敵な言葉だなと。神様私にお任せくださいって言うってみるっていうか、そうすると自分が頑張らなきゃって、お任せしてもらわうわけだから、自分に責任もできるわけだから。



薬物検査の様子を
YouTubeに
アップしています。



検査キット販売
<https://x.gd/C06eK>

MARCY'Sちゃんねる

MARCY'Sちゃんねる
マーシーズチャンネル
@MARCYS_channel
チャンネル登録者数 8.11万人・98本の動画

2023年8月4日よりマーシー(田代まさし) YouTuberデビュー!
...さらに表示

twitter.com/MARCYS_channel、他2件のリンク

登録済み

ホーム 動画 ショート 再生リスト

新しい順 人気の動画 古い順

【ゴルフで英語禁止!?】宮迫さん vs マーシー
1.5万回視聴・3日前

田代まさしから皆さまへ
まへご報告 (2025.02.20)
3.6万回視聴・7日前

マーシーとの対談の様子
薬物検査の様子を
YouTubeに
アップされます!
是非ご覧ください。

志立：マーシー変わりましたね？

マーシー：ようやくこういうふうに見えるようになってきている。

志立：今回の一つ前に出てきた時も私会ってるじゃないですか。それと今とは全然違う。

マーシー：ありがとうございます。自分では全然わからないんだけど。

志立：今のマーシーは前と全然違うよね。別人みたいだよなって周りの人は言ってます。

志立：それでは最後に、今ダルクに行こうかどうか迷ってる人がいるとして、なかなかハードル高いですよね。そういう人に何か伝えたいことはありますか？

マーシー：最初は親とか周りからダルク行ってみればっていうのも、それはそれでアリだと思うわけ。きっかけだから。とりあえず行ってみないとわからないじゃないですか。嫌だなと思ったら思ったでそれはそれでいいと思ってる。行ってみただけど、やっぱりちょっと向いてないとか。でもとりあえず行ってみる。

そこがダメでも違うダルクもあるじゃないですか？ いろんなダルクが日本全国に80何か所とあるわけだから。ここは合わなくてもここは合うとかっていろんな人に聞いてるんだから。3か所行ってようやくここで落ち着きましたとか。例えばアパリに相談しに来ました。どこか行ってみますかって言っても、いや、遠いので嫌ですとか・・・。

志立：マーシーに最初、藤岡ダルクを紹介したら、遠くて嫌だから東京にしてくれと。それで近藤さんを身元引受にしたんですよ。

マーシー：そういう個人的な意見もある。皆さんに言っておきます。ハードルは高い方がいい。なんでかっていうと、俺の考えだよ。高いと越えづらいと思うじゃないですか。中途半端なところにハードルあると越えづらいけど、ハードル高いと下をくぐり抜けられる(笑)。

志立：そういうことですか。最後はギャグで・・・(笑)。

マーシー：いや、ギャグっていうか、考え方っていうか、くぐればいいってことね。越えるんじゃないくて。くぐっても向こうに行くわけだから、どちらでも向こうに行くってこと。みんなは越えようとするから大変なんだよ。くぐってもいいし、横通ってもいいんだよ。遠回りしてもいいんだよ。一生懸命真面目に越えようとするから辛くなる。

志立：とりあえず行ってみると！

マーシー：第一歩が、とりあえず経験してみる。何も経験しないで頭ごなしに嫌だよって。最初、俺も思ってたよ。あんなヤクチュウばかりいるところに行きたくないって、みんなそう思いますよ。でも俺みたいにあることで、雷に打たれたみたいに急になんかあれ? って、ここでこんなこと気付けたとか、こんなにみんながやめようとして頑張ってるとか、そういう姿を1度見せたいっていうか、俺の経験上だよ。

使っている時に誰もやめ方を教えてくれなかったね。ダルクに来てこうすれば完全にやめられる・・・とは言い切れないけど、でも止まるんだということを教われる。それは知っておくべきだと思う。やめるやめないは個人の自由ですけど、一応やめ方は教えてくれる。

別にお金なくてもちゃんと生活保護で入寮できたりするし、そんなお金は心配しなくても方法はある。親がお金持ってるんだったら出してもらえばいいわけだから、そこは甘えて。

最初のきっかけは無理やり行けって言われたから来ましたでもいいと思う。でもその来ているうちに何か自分の中に芽生えるものがあるから、これは無駄な経験ではないと思う。だから一度来てみることは重要っていうか、私はそう思っています。

志立：ありがとうございます。大切なメッセージをいただきました。

マーシー：志立さん、私にお任せください(笑)。

志立：今日はありがとうございました。



アパリで毎月1回実施している
薬物検査の撮影風景

Willのコラム

心のつぶやき日記 (10)

施設長 野呂 岳央 (タケ)

“賢さ”って何だろう？ ふと考えさせられることがあります。この言葉に含まれるニュアンスは様々あります。使い方によっても、使う人によっても、多様な意味を包含している単語ですね。

自分自身が再び自分の病的依存にはまってしまい、どうしようもなくなっていく。自分と同じ依存症のメンバーが、自身の特性に振り回されながら様々な困難や苦境に陥っていく。これは一見、リカバリーから後退したように見えるのかもしれませんが。

しかし、私自身は、これらのことは回復にとって常に意味のあることだと感じます。自他の失敗経験から学ぶことは、私たち依存症者にとって欠かせない、賢くなるための大切なプロセスではないでしょうか。

ドイツのビスマルクの言葉で『愚者は経験から学び、賢者は歴史から学ぶ』というものがありますが、これは〈愚者は自分のミスからしか学ばないが、賢者は他人のミスから学ぶ〉という意味だといえます。

さらに言えば、英文では“Fools say they learn from experience. I prefer to learn from the experience of others.”、つまり直訳すれば『愚者は経験から学ぶと言うが、私は他人の経験から学ぶことを好む』。“賢者”や“歴史”という単語は入っていないんですね。

私自身のことを考えました。はじめは自分の経験からも学び取ることはできず、しかし自分の経験から学ばざるを得ない状況となり、やがて仲間にも助けを求めながらも自分の経験から学べるようになり、徐々に、仲間の経験からも謙虚に学ぶことができるようになっていく。そして自分の経験を仲間にも伝えていく。

もちろん自分で様々な失敗をし、そこから学ぶことはなくなりません。逆に成長して「またやっちゃった…」と失敗を認識できることが増えてきます。今後も自分の中の愚者がいなくなることはないでしょう。だからこそ、他人の経験から学び続けることが大切なんだと気づけます。

ビスマルクの言葉は、私的にいえば「私はもともと傲慢で愚かだったけど、他人の経験から学ぶことを知り、だんだん賢くなっていった」という解釈ですかね。

依存症者にとって“the experience of others”は仲間のつながりの中でこそ学べる。自分の命、自分の人生に希望をもって大切にしていけるようになったのは、そのおかげだと感じています。

私たちが自助グループで大切にしている「平安の祈り」というものがあります。

神様 私にお与えください

自分に変えられないものを受け入れる落ち着きを 変えられるものは変えていく勇気を
そして二つのものを見分ける賢さを

自分にはないものを、周りから与えてもらう。そしてともに成長していく。やがて賢明な「人生の選択」ができるようになっていく。「他人の経験から学ぶことを好む」…周りのメンバーから学ばせてもらうことはたくさんありますし、その学びを味わい楽しめるようにはなりました。回復人生もそれ以外の人生も、結局は学びあいのかな…

学びあい、活かすこと。とりあえず今回はそういうことにしておきたいと思います。

就労継続支援B型
事業所 Will
新規利用者
新規作業
大々的に募集中!!



内職作業



内職作業

缶バッジの受注製作販売
を行っています。

藤岡ダルク 入寮者からのメッセージ

「新しい生き方」

ショウタ

NPO法人アパリは、群馬県藤岡市にある藤岡ダルクを運営しています。同施設の入寮者からのメッセージをお届けします！



はじめまして、依存症のショウタです。私は現在24歳で、藤岡ダルクに入寮して3年になります。

私は母子家庭で育ち、姉が2人居ます。物心が付いたとき自分の性自認がゲイであることに気づき、人間関係や両親の離婚などもあり学校に行かなくなりました。1人で居ることが多く、家族との関係も悪かったので、家族が帰ってくる時間帯は外に行き、家族と関わる事も避けた生活をしており、人と話す事もほとんどありませんでした。他の人と居るより1人でいた方が傷つかなくて良いという考えが強く、自分から1人になっていきました。その時、母親の勧めで、初めて精神科を受診し自閉症という診断を受けました。

高校になってから周りの環境が変わり、家族と関わる事も増え、友達や親友と呼べる人もでき、学校にも通えるようになりましたが、自閉症の特性であるコミュニケーションがとてもコンプレックスでした。また寂しさからくる夜遊びも酷く、高校を卒業した後も夜遊びを続け、後々薬物と出会うようになりました。

SNSで知り合った男性から薬物を勧められて、元々興味があったので自ら薬物を使ってしまいました。最初に使ったときの感覚は衝撃で、すぐに薬物の虜になりました。私は薬物をセックスドラッグとして使用していて、薬物を使うと快樂だけではなく、自分のコンプレックスも改善され、人と話す事も楽しかったように感じます。そこからしばらくしてから自分で薬物を買って、1人で使うようになり、使う量や頻度は更に増えていきました。最初の内は快樂を求めて使っていた薬物が不安や退屈さを紛らわせる為に使うこともありましたが、薬物を使っている事は危険で違法な事だと分かっていたのですが、快樂を優先してしまい止めることが出来ませんでした。

薬物を使うと生活リズムが乱れ、仕事に行けなくなり、不安を感じる事が多くなり「薬物を止めないと」と思っていたのですが、自分の力では止めることが出来ずそのまま使い続けました。精神科を受診したところパニック障害という診断を受けました。薬物の使いすぎで幻覚・幻聴・妄想等が酷くなり、最後には自ら警察に行き自首をしました。その後1度自宅に戻り、母親の居る前で私は逮捕されました。警察に連れられ家を出るときに母親とハグをしたときの母親の顔は今でも忘れません。

勾留中に家族が面会に来てくれたときに、怒られ責められ縁を切られるのかと思っていたのですが、家族は「ちゃんと眠れている？」「ちゃんとお飯を食べている？」など心配してくれて、家族に対する信頼感を持ってなかった事に反省しました。家族が面会に来てくれたときに薬物依存症の施設に行こうと勧められました。釈放され、母親と一緒に地元の施設へ話を聞きに行き、藤岡DARCへの入寮を勧められて行く事に決めました。私は実家から出たことがなく、県外での生活はもちろん集団生活などしたことがないので、不安が強かったのを覚えています。

藤岡DARCに来て県外での生活や集団生活に慣れず、パニック発作を起こすようになりました。スタッフさんの勧めで精神科を受診したところPTSDだと診断されました。私は大声や人の怒りが身近に起こると、「自分に向けて言われているのではないか？」という不安に駆られ、フラッシュバックの症状が出る事が多いです。あまり記憶は無いのですが、小さいときから周りの人達から責められたり、言葉による暴力が多かった様に感じ、年上を中心に恐怖を感じたり、不信感を抱いたりすることが多かったです。藤岡DARCに入寮し、初めてPTSDの症状であるフラッシュバックやパニック発作などを起こし、プログラムを受けるのも困難で自分を傷つける行為などもしていました。その時、周りの仲間は心配してくれ、受け入れてくれたことにすごく感謝しています。仲間のおかげで乗り越えられたと思っています。最初の頃はミーティングに参加しても不安や緊張等で自分の名前も言えない程、ミーティングは苦手で発言も出来ませんでした。ミーティングというものに参加をしたことが無かったため、何を話したら良いのか分からず、また、人の目を気にして黙ってしまう事がすごく多かったです。



年末フェロー
食べ放題



年末ビンゴ大会

藤岡DARCに入寮して1年が経とうとした時、PTSDのフラッシュバックを起こし、常に不安を感じていて部屋から出ることが困難になり、AREA高崎という施設に通うようになりました。少し環境が変わり、徐々に不安を感じる事も少なくなりました。

施設生活も慣れ、プログラムにも参加出来るようになった時、自分のコンプレックスである「自分を表現すること」や「自分の考えを言葉にすること」にとっても悩み、相談することも難しかったです。昔はコンプレックスを薬物で紛らわせていたのですが、その手段を取らずに向き合うのが怖く泣いたこともありました。過去の自分に手紙を書くプログラムがあり、3行しか書けなくて悔しくて泣いた記憶があります。AREA高崎での生活で調理や人前に立って話をすることもありますが、経験が少ないため、「自分はやったことがないから出来ない」と決めつけていました。それでも仲間を誘われて色々やってみると最初は難しく失敗することもありましたが、周りの仲間のサポートもあり徐々に出来るようになり、リーダーをやらせてもらうようになりました。群馬に来てから色々な経験をさせてもらい、それが自分の身になっているので良い経験をさせてもらいました。

今振り返ると、自分は周りへの感謝が足りない事を思い知ります。私は自分を大切にすることなく生きてきたので、自分を大切にしたいと思います。周りへの感謝と自分を大切にすることを藤岡DARCで学ばせてもらっています。



川崎ダルクフォーラム
合同エイサー

ギャンブル依存症者向け入寮型施設《AREA軽井沢》 開設について

開設準備担当 針木 小太郎

昨今メディアでも相次いで報道されている通り、ギャンブル依存症に苦しむ当事者の方が増えています。我々藤岡ダルクにも多くの入寮相談を頂き、現在約10名の入寮生が共同生活を通して回復を目指している他、入寮予定の方も複数名いる状況です。

こうした中、ギャンブル依存症に特化したプログラムを行なっている専門回復施設がまだまだ足りないのも事実であり、私たちに出来ることは無いか模索する中で、新たに入寮型施設を開設することを目指して準備を進めて参りました。

この度、群馬県初となるギャンブル依存症者向け施設《AREA軽井沢》を開設いたします。

施設名：一般社団法人AREA AREA軽井沢
所在地：群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢2032-2172
対象：ギャンブル依存症者向け入寮型施設
定員：約30名（男性のみ）
開所：令和7年4月1日(火)



軽井沢・草津温泉双方の中間点に位置し、浅間山麓の自然豊かな別荘地の一角でギャンブルと距離を取り、プログラムに取り組みながら回復と社会復帰への希望を抱いて頂けるような施設にして参る所存です。

また、広く皆様方へ開設のご報告を申し上げるべく開設フォーラムを以下の通り行います。

“AREA軽井沢”開設フォーラム『First Step』（仮称）
日時：令和7年5月19日(月)13時30分～（13時開場）
会場：ピエント高崎・エクセルホール（450名収容）群馬県高崎市問屋町2-7
※JR高崎駅よりタクシーで約8分、JR高崎問屋町駅(問屋口下車)より徒歩約5分



ダルク対抗 ニューイヤー駅伝大会 結果報告！！



2025/1/24(金)
群馬ダルクが2回目の参加にして初の優勝。2位山梨ダルク。3位に藤岡ダルク。
藤岡ダルクは3～9区まで1位をひた走るも、逆転を許し、連覇は3連覇で途絶える。





特定非営利活動法人
アジア太平洋地域アディクション研究所

○アパリ東京本部
〒162-0055
東京都新宿区余丁町14-4
AICビル1階
電話：03-5925-8848
FAX：03-5925-8984
Email：info@apari.or.jp

○藤岡ダルク
〒375-0047
群馬県藤岡市上日野2594番地
電話：0274-28-0311
FAX：0274-28-0313
○入寮費：月額13万円+生活費
1日千円（初月のみ14.5万円）
（税別）
*生活保護の方も可能
○入寮条件：依存症から回復
及び自立をしようとしている
本人。男性のみ。
○入寮期間：個人により差が
あります。
<https://fujiokadarc.com/>



2019年7月よりホームページが新しくなりました。ぜひご覧ください。
<https://apari.or.jp>
<https://www.facebook.com/AsiaPacificAddictionResearchInstitute/>

発行責任者：志立玲子
2025年3月1日発行
定価 1部 100円

＜司法サポートのご案内＞

《薬物事犯で逮捕された刑事被告人に対する支援》

薬物犯罪で逮捕されたら刑務所に行くか、再犯防止に向けた何の取り組みもないまま執行猶予の判決を受け、また薬物のある日常に戻るしかなかった日本において、初めて刑罰以外の再犯防止に向けた取り組みを2000年7月からしています。

保釈中の刑事被告人に対する薬物研修プログラム、情状証人出廷、上申書作成、入寮契約、身元引受契約、出所出迎え、法律相談などあらゆるニーズにお応えします。なお、アパリの司法サポートを利用された方の再犯率は10%以下です。保釈中のプログラムの提供、受刑中の身元引受、出所出迎えをしてリハビリ施設につなげるまでをコーディネートします。

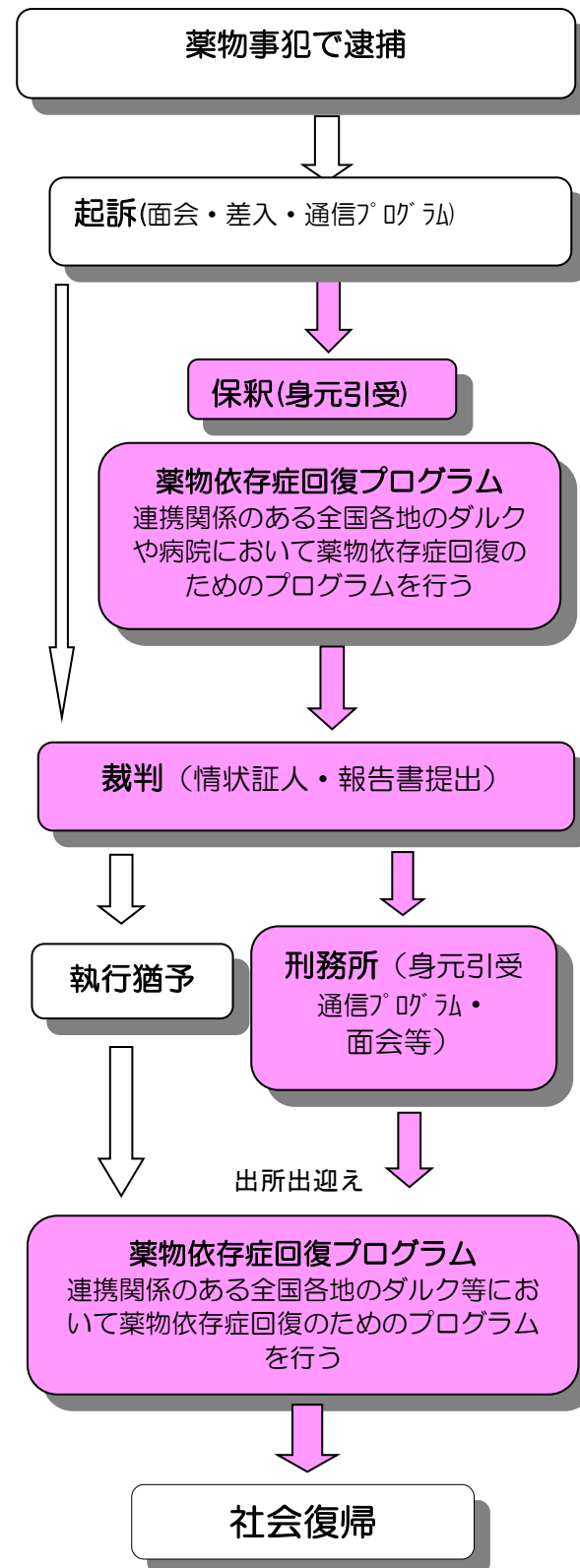
ギャンブルの問題が原因で逮捕された方やクレプトマニアの方の司法サポートも行っています。

[料金：コーディネート費用として20万円(税別)。交通費・宿泊費の実費が別途必要です]

窃盗、横領、詐欺等で逮捕されたご家族の相談もお受けしています。

【お問合せは東京本部まで】

アパリの支援



＜アパリ家族教室スケジュール・東京＞

第1月曜	連続講座	土曜	嗜癖行動家族教室
3/3(月) 13:30~ 18:30~	第4回 本人・家族の心の成長- 自律心・自尊心を伸ばす関わり	3/8(土) 17:00~	第6回(新) 発達障がいと家族 ~アスペルガーとカサンドラ~
4/7(月) 13:30~ 18:30~	第5回 気持ちの回復: 家族自身の気持ちと本人の気持ち の両方を大事にする	4/12(土) 17:00~	第7回(新) 家族の回復とは
5/12(月) 13:30~ 18:30~	第6回 子どもの成長を助ける 関わりについて	5/10(土) 17:00~	第8回(新) まとめ
6/2(月) 13:30~ 18:30~	第7回 薬物問題を持つ人の家族の 回復プログラム	6/14(土) 17:00~	第1回(新) 家族とは? ~家族システム~

【対象】ご家族、支援者等(本人は参加できません)

どちらも全8回の講座ですが、どの回からでも参加できます。

【場所】アパリ東京本部 【参加費】3,000円(2名以上の場合は4,000円)

連続講座 講師:志立玲子(精神保健福祉士・公認心理師)

アシスタント:進藤俊明(青梅アライブ・精神保健福祉士)

嗜癖行動 講師:梅野充(アパリクリニック精神科医師)、志立玲子